

# はばたき21通信

SPRING 5TH EDITION 2003.6

台東区立男女平等推進プラザ

What is gender?



## 相談室へ！

「はばたき21」の愛称で親しまれている台東区立男女平等推進プラザ。その一角に、完全プライバシー保護の相談室があります。

幅広い年齢層の人が、様々な相談を安全に安心して行える場所。

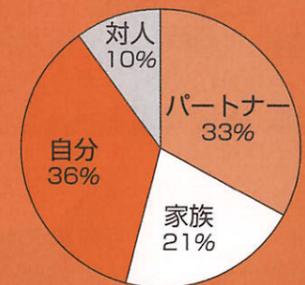
平成14年の相談件数は、405件。

小さな悩みでも大丈夫。

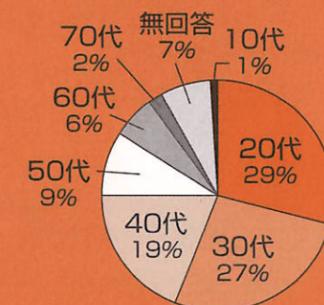
専門のカウンセラーが相談にのります。

一人で悩まず、話してみませんか？

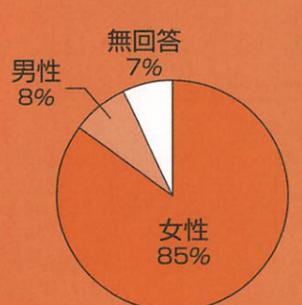
相談内容は？



利用者の年齢層は？



相談者の男女比は？





**Q 「はばたき21」にはどんな相談があるの？**

**A** 定期的で開催しているものは、「女性の弁護士による法律相談」と「こころと生きかたなんでも相談」の2種類があります。一回50分です。

随時開催の「グループサポート相談」は、女性問題の視点でテーマを設定し、テーマごとに相談員を配置して、グループで相談に応じています。相談のテーマと内容は事前に広報などでお知らせします。

これらすべての相談内容は秘密厳守で、相談は無料です。

**Q こころと生きかたなんでも相談では、  
どんな相談ができるの？**

**A** その名の通り心の悩みをなんでも相談してください。  
たとえば…  
「どうやって子どもと接していったらよいか、途方にくれている」  
「どんなに努力しても職場の人間関係がうまくいかない」  
「大切な人を失い、寂しくてどうしても元気が出ない」

# 知りたい！相談室

はばたき21相談室ってどんなことができるの？最近よく耳にするDVって？みなさんのギモンにお答えします。

「家族に関して困っている問題がある」  
「近所の人と行き違いがあってその後うまく付き合えない」  
「夫、妻から叩かれたり殴られたりする暴力を受けている」  
その他、なんでもご相談ください。

**こころと生きかたなんでも相談日**  
火曜日・土曜日：午前10時～午後4時  
水曜日・木曜日：午後5時～午後9時

**女性弁護士による法律相談日**  
第2水曜日：午後1時～午後4時  
第4火曜日：午後4時～午後7時

**Q 法律相談はどんな相談ができるの？**  
**A** 結婚や離婚、親子、子どものことなど、人権に関することを専門にしている法律相談です。

**Q 「こころと…」の相談員はどんな人？**  
**A** こころと生きかたなんでも相談の相談員は専門の知識をもった女性のフェミニスト心理カウンセラーです。

**Q 相談したいんだけど  
どうすればいいの？**

**A** 事前に電話で予約してください。受付時間は火～日の午前9時から午後5時までの間、電話番号は予約専用電話 **03-5246-5819**です。

**Q 総合窓口はありますか？**  
**A** 「はばたき21相談室」の運営や相談体制等その他に関するご意見・ご要望につきましては、4ページ記載の「はばたき21」事務室までお寄せください。

相談時間中（火・土曜の午前10時～午後4時）に無料の託児保育を実施しています。ご利用の際は相談電話予約時にあわせてお申込下さい。

# DVを知っていますか

DVとは、ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者やパートナーから振るわれる暴力のことです。

日本には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」があります。

この法律は、配偶者からの暴力が犯罪となる行為であるとともに、個人の尊厳を害しているということを明示しています。

平成14年度中にはばたき21相談室で受けた405件の相談のうち、25件はDVの相談でした。DVの相談は全体の16%を占めています。

また、全国の配偶者暴力相談支援センターでは平成14年度中に総件数35,943件の相談がありました。これは全国で一ヶ月に平均約3,000件の相談が行われたことになります。

こうしたことからDVは特別な家庭にだけ起こっているわけではないということがわかります。

かぞく、人間関係、  
自分のこと、パート  
ナーのこと、仕  
事のこと…



|   |   |
|---|---|
| <p>家族</p>                                 | <p>はばたき21相談室では、お出かけになりにくい方のために電話での相談も行っています</p> |
| <p>DVやストーカー、子どものことなど、いろいろな相談を受けつけています</p> | <p>パートナー</p>                                    |

全国の男女4,500人を対象に平成11年、内閣府が行った「男女間における暴力に関する調査」(解答率75.7%)では、「命の危険を感じるくらいの暴行を受けたことがある」と回答した人は、女性で4.6% (約20人に1人)、男性で0.6% (約200人に1人) でした。

さらに、警察庁の統計によると、平成13年の配偶者の暴力の検挙状況は、殺人が191件。傷害が1,097件。暴行が156件。合計で1,444件。そのうち92.3%は女性が被害者です。このように女性が被害者である割合は非常に高くなっています。

暴力には様々な形態があり、複雑に重なり合っ

**パートナーからの暴力の相談は…**

東京ウィメンズプラザ  
**03-5467-2455**  
年末年始を除く  
午前9時～午後9時

警視庁生活安全相談センター  
**03-3501-0110**  
祝日、年末年始を除く月～金  
午前8時30分～午後5時15分

東京都女性相談センター  
**03-5261-3110**  
祝日、年末年始を除く月～金  
午前9時～午後8時

警視庁犯罪被害者ホットライン  
**03-3597-7830**  
祝日、年末年始を除く月～金  
午前8時30分～午後5時15分

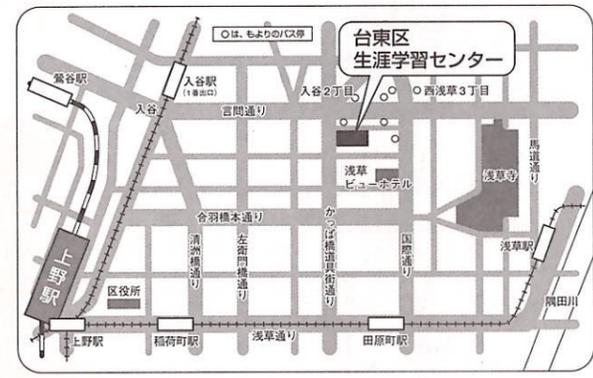
**夜間・緊急時は**  
  
警察  
**☎110**  
  
東京都女性  
相談センター  
**03-5261-3911**  
  
**24時間対応**



## はばたき21 男女平等推進プラザ

- ♪ 所在地：〒111-8621  
東京都台東区西浅草3-25-16  
台東区生涯学習センター 4階
- ♪ 交通機関：地下鉄日比谷線「入谷」駅から徒歩8分  
バス足立梅田町～浅草寿町、亀有駅～上野公園  
上記2ルートの「入谷2丁目」下車徒歩1分
- ♪ 開館時間：午前9時～午後10時
- ♪ 休館日：月曜日（祝日にあたる場合は翌日）、年末年始
- ♪ 図書貸出：午前9時～午後8時（日曜・祝日は5時まで）
- ♪ TEL：03 (5246) 5816
- ♪ FAX：03 (5246) 5814
- ♪ E-mail：habataki21@taitocity.net
- ♪ http://www.taitocity.net/habataki21

INFORMATON  
**はばたき21パソコン初心者講座**  
**「インターネット情報検索・活用こと始め講座」開催のお知らせ**  
 はばたき21では毎月1回、パソコンの初心者のための講座を開催しています。  
 開催日\*8月16日、9月13日  
 時間\*午後1時30分～、2時30分～、1回50分  
 定員\*4名  
 お電話、または直接お越しになってお申し込みください。この機会にぜひパソコンを覚えてみませんか！



「はばたき21通信」についてのご意見ご感想を、FAX、はがき、E-mail、はばたき21にある意見箱等までお寄せください。お待ちしております。  
 はばたき21通信は郵便局、NTT、駅、区役所、出張所、図書館、区内公共施設、都内女性センターなどで配布しております。

## Library 一図書情報一

少子高齢化の一途をたどっていると  
 言われる日本社会。

そんななかで、今、子育てをしている人たち（多くは女性たち）は、日々、どんなことを感じ、どんな支援を必要としているのだろう。私たちにはそのために何ができるのだろう。

「子育てをしたことがない人が、子育てがどのようなものかを知ること。そして、今は子育てに関わっていない人が、子育てに関われる社会をつくること。」

こうした発想が、社会の中で孤立しがちな子育てをする人たちを支え、その責任を母親にのみ課す今の社会の状況を変えていくことになる、と著者は本書を通して伝えています。

著者は、2人の子どもを持ち、日本とトロント（カナダ）で、子育てをした経験をもつ研究者。本書は、日本とトロントでの子育て支援の状況を調査し、具体的で実践に役立つ魅力的な情報を豊富に含む読みやすい子育て支援入門書です。

いっしょに、子育てやソーシャルサポートの在り方について考えてみませんか。



『社会で子どもを育てる 子育て支援都市トロントの発想』武田信子著、平凡社新書 2002.11



『なぜ男は暴力を選ぶのか ドメスティック・バイオレンス理解の初歩』沼崎一郎著、かもがわブックレット 2002.11

この題名を聞いて、どんな感情をもちますか？なぜ、男は暴力を選ぶのか。なぜなのか、教えて欲しいよ、という思い？選んでないよ、という反発する気持ち？それとも驚き？

この題名は、本書を貫く著者の考え、つまり「男は、暴力以外の問題の解決方法を選ぶこともできるのに、あえて、暴力を選び取ってしまうている」、それを直視することからDVについて考え始めようという提案なのです。

著者は、この「男は暴力を選んでる」という考え方に会ったとき、天地がひっくり返るほどのショックを受けたといいます。なぜなら、その考え方は、暴力は衝動的なもので、理性的でない状態の人が取ってしまうものだという考えを根本から変えてしまうものだったからです。

さあ、あなたはどう感じますか。どうぞ、本書を読みながら、考えてみてください。